

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

2

本別空襲の日

7月15日は平和への

誓い新たに

戦没者・戦災死没者追悼式(参列のお知らせ)

国民年金コーナー

4…わが町の七月十五日

沖縄戦とひめゆり学徒隊

6

たくさんさんの花でまちが きれいになりました

8…地域の一大イベント運動会

10

KAZUMI&古謝美佐子 「北と南の民謡ドリムコンサート」

ニトリ北海道応援基金

「桜ともみじの山づくり事業」「町有林造林事業」 第8回ほんべつ元気学宿

12

第六次本別町 総合計画

Part14

- ハロー教育委員会……………13
- マイタウン……………14
- みんなの健康・銀河ホットライン……………16
- ご寄付ありがとうございました……………17
- 本のある暮らし・わたしたちのまち……………18



はいチーズ!

遠足の途中で、役場を訪れた本別カトリック幼稚園の園児たち

7月15日は 平和への誓い 新たに

第 二次世界大戦間際の七月十五日、本別町は十勝で最大の被災地となる空襲を受けました。本別町史には「米軍機は、まったく非武装の本別市街を、地上から乗員の顔やジャンパーが見えるほどの超低空飛行で機銃弾を打ち込み、爆弾を投下するなど、およそ五十分にわたり攻撃を繰り返した」とあります。四十人が死亡し、二百七十五戸が全焼。被災者総数は千九百十五人、火事は手のほどこしよがなく三日三晩に及び、一時は火の明かりで日常の作業ができるほどであったといえます。

そ れから六十五年が経過し、町並みも生まれ変わり、今や戦争の傷跡を見つづけるのも難しくなりました。空襲を受けた私たち本別町民は、この悲惨な戦争を繰り返さないよう後世に伝えていかなければなりません。本別空襲のあった七月十五日には、空襲で犠牲になられた人や幾多の戦役で戦死された人のご冥福をお祈りし、二度と悲惨な戦争を起こさないことを誓うため「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が行われています。そして七月十五日を中心に語り継ぐための事業が開かれます。



空襲を受け3分の2が焼失した本別市街

本別町戦没者・戦災死没者追悼式

とき **7月15日(木) 午前10時**
ところ **ふれあい交流館 (向陽町)**

今年も「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が執り行われます。本別町では、日清・日露・第二次世界大戦の戦役で299人が戦死され、本別空襲において40人の尊い命が奪われています。追悼式は午前10時に始まり、黙とう、追悼のことば、献花など犠牲者のご冥福をお祈りし、平和への誓いを新たにしています。町民の皆さんの参加を希望するとともに、黙とうを呼び掛けるサイレンが午前10時10分ころに吹鳴されますので、一緒に黙とういただきますようお願いいたします。



昨年の追悼式

黙とうをお願いします

国民年金

あなたも年金を増やしませんか？

その99

20歳から60歳まで40年間保険料を納めた人が、65歳から受け取る老齢基礎年金は満額で79万2100円(平成22年度額)です。

老齢基礎年金に上乗せして年金額を充実させるには、「付加年金」「国民年金基金」「任意加入」などの制度があり、将来老齢基礎年金に上乗せして受け取ることができます。

これらの制度に加入すると、納めた保険料や掛け金は全額所得控除となり、所得税や住民税が軽減されるというメリットもあります。

ちよつと増やせる

① 付加年金

国民年金第1号被保険者が、国民年金保険料に付加保険料を上乗せして納める制度。ただし、国民年金基金に未加入、保険料免除を受けていないことなどの条件があります。

☆納める付加保険料(月額) 400円
☆受け取る付加年金額(年額) 200円×納付月数



② 国民年金基金

国民年金第1号被保険者が、受け取りたい年金額などに応じて、加入人数や年金の種類を選択し、掛け金を納める制度。

③ 任意加入

国民年金保険料の納め忘れなどで保険料の納付済期間が40年間に満たない場合に、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して、満額の年金に近づける制度。ただし、厚生年金保険や共済組合に加入していないことなどの条件があります。

※保険料の納付方法は、原則口座振り替えになります

申し込みおよび問合せ先

- 付加年金・任意加入
役場住民課戸籍年金担当
☎ 22-8128
- 帯広年金事務所
☎ 0155-6518002
- 国民年金基金
北海道国民年金基金フリーダイヤル
☎ 0120-6514192

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎ 22-8128

わが町の七月十五日

沖縄戦とひめゆり学徒隊

今年の「わが町の七月十五日」は、十勝で最大の空爆被害を受けた本別空襲の記録とともに、ひめゆり平和祈念資料館と沖縄県平和祈念資料館の協力を得て、沖縄戦で負傷兵の看護などにあたった「ひめゆり学徒隊」の記録を展示し、戦争の悲惨さと平和であることの大切さを伝えます。

ひめゆり学徒隊

沖縄師範学校女子部、沖縄県立第一高等女学校の生徒二百二十二名、教師十八人が、米軍の沖縄上陸作戦が始まった昭和二十年三月二十三日深夜、那覇市の南東五kmにある南風原の沖縄陸軍病院に配属されました。

三月二十六日、米軍は慶良間列島に進攻、四月一日には沖縄本島中部西海岸に上陸。米軍の南下に従い日本軍の死傷者が激増。生徒たちは運ばれてくる負傷兵の看護や水くみ、食事の準備、死体埋葬に追われ、仮眠を取る間もありませんでした。

五月下旬米軍が迫る中、生徒たちは日本軍とともに陸軍病院を出て、本島南端部に向かいました。激しい砲撃の続く中、六月十八日に突然

の「解散命令」。絶望した生徒たちは、米軍が包囲する戦場を逃げ惑い、ある者は砲弾で、ある者はガス弾で、そしてある者は自らの手りゅう弾で命を失いました。陸軍病院に動員された教師、生徒二百四十人中、百三十六人が亡くなりました。

ひめゆりの由来

沖縄県立第一高等女学校と沖縄師範学校女子部には、それぞれに校友会誌があり、一高女は「乙姫」、師範女は「白百合」と名付けられていました。両校が併置されることにより、校友会誌もひとつになり、両方の名前の一部「乙姫」の姫と、「白百合」の百合を合わせて『姫百合』となりました。

平仮名で『ひめゆり』を使うようになったのは戦後です。

本別の人々と沖縄戦

昭和二十年四月、アメリカ陸海軍約五万人が沖縄に上陸し、六月下旬には日本軍の組織的抵抗が終わる。

沖縄戦の日本戦死者総数は二十万六千五百六十六人を数え、アメリカ側が約六・二％、一万二千五百二十人だったのに対し、日本側は九三・八％に達した。中でも沖縄出身の軍人軍属、戦闘参加者、一般県民は約六五％、十二万二千二百二十八人の上った。

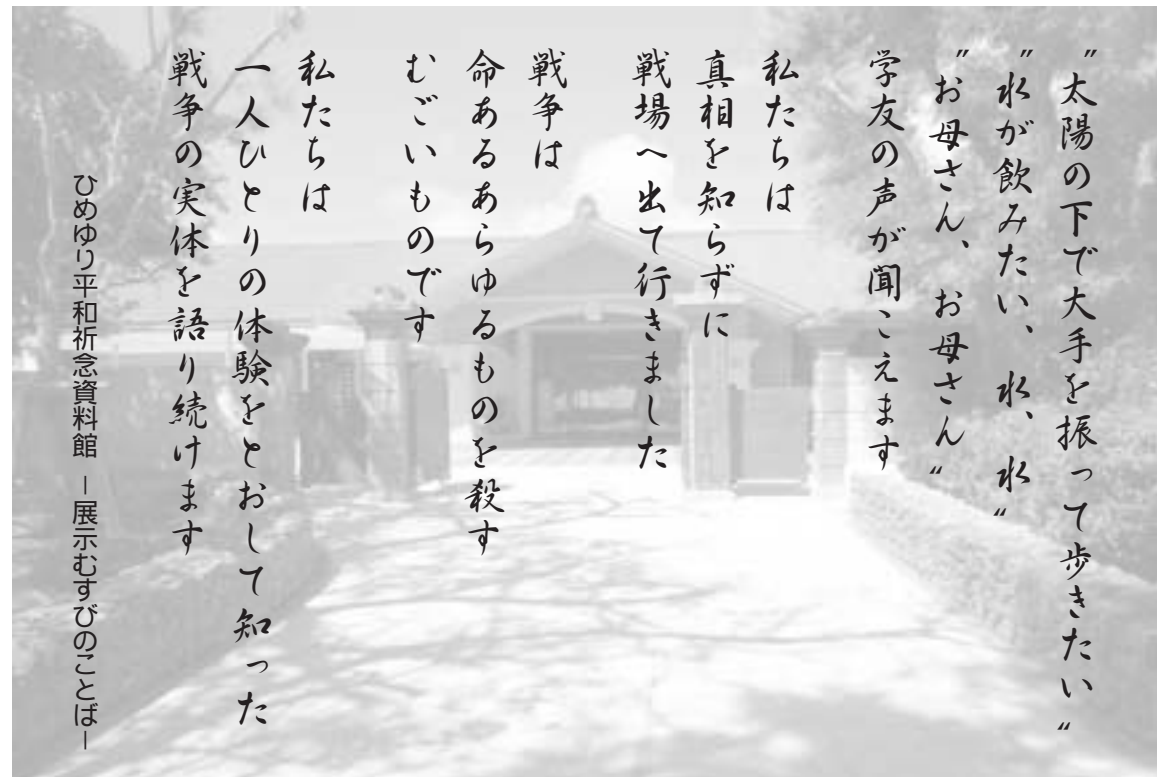
他府県の軍人軍属の戦死者は約三五％の六万五千九百八十八人だったが、うち約一五・三％で最多だったのは北海道出身者部隊（第二十四師団・山部隊）の一万八千五百人だった。それまで「ソ連国境」東部の警備についていた第二十四師団の第二十二（函館連隊区）、第三十二（札幌連隊区）、第八十九（旭川・釧路連隊区）の各連隊は、昭和十九年八月、沖縄に移駐して第三十二軍に編入された。



本別町戦没者

(地域名と戦没者数)

地域名	戦没者数
沖縄	52人
本別	40人
支那	40人
フィリピン	26人
本州	21人
満州	13人
太平洋・同諸島	13人
ガダルカナルソロモン諸島	12人
ニューギニア	12人
道内	10人
本州	4人
アツツ島	3人
樺太	3人
シベリヤ	3人
北海道	2人
その他	15人
不明	9人



ひめゆり平和祈念資料館

“太陽の下で大手を振って歩きたい”
 “水が飲みたい、水、水”
 “お母さん、お母さん”
 “学友の声が聞こえます”
 私たちは
 真相を知らずに
 戦場へ出て行きました
 戦争は
 命あるあらゆるものを殺す
 むごいものです
 私たちは
 一人ひとりの体験をとおして知った
 戦争の実体を語り続けます

ひめゆり平和祈念資料館 | 展示むすびのことば |

期間 7月1日(木)～31日(土)

※毎週月曜日は休館になります

会場 歴史民俗資料館

開館時間 午前9時～午後4時30分

※入館は午後4時まで

入館料 町内：一般 100円

65歳以上・小中高 50円

町外：一般 150円

65歳以上・小中高 100円

主催 本別町教育委員会 ほんべつ学びの日

協力 ひめゆり平和祈念資料館 沖縄県平和祈念資料館



沖縄師範学校女子部の生徒たち (昭和19年春)

オープニングセレモニー

とき 7月1日(木)

午前10時～午前10時45分

ところ 町体育館中競技室

内容 平和を願う「合唱と朗読」

協力 仙美里中学校・本別混声合唱団

お問い合わせ 歴史民俗資料館 ☎22-2141 (内線410)

たぐりぐりの花でまちが

きれいになりました

5/23

本別町商工会女性部（小川睦子会長）が五月二十三日、本別公園第二キャンプ場にエゾムラサキツツジ四十六本を植樹しました。



本別町自治会連合会（三枝金作会長）が五月二十八日、「花いっぱい運動」を行いました。花とみどりあふれるまちづくりを目的に毎年行われ、今年も十五自治会が国道沿いの花壇や公共施設などを整備。参加した人たちは、慣れた手つきで花の苗を一つひとつ丁寧に植え付け、六〇〇〇株の花で町じゅうが彩られました。

5/28



5/29

南四丁目自治会（橋本勝彦会長）が五月二十九日、国道二四二号線の花壇を整備しました。これは、毎年帯広開発建設部の補助を得て行われているもので、ベコニアやサルビアなど三九五〇株が一本ずつ丁寧に植えられました。



6/3

六月三日、本別市街地婦人会（田原美枝会長）の会員約三十人が、道の駅「ステラ★ほんべつ」西側の花壇を整備しました。今年は三色のベコニア約一〇〇〇株を星形にかたどり、多くの観光客の目を楽しませようきれいに植えられました。



6/7

六月七日、本別町体育協会（大西光夫会長）が、町体育館前の花壇の花植えを実施しました。これは、同協会の創立五十周年を記念して行われたもので、インパチエンスとルドベキアブレリーサン四〇〇株が鮮やかに植えられました。



6/9

六月九日、JA本別女性部（篠原寿美江部長）の部員四十人が本別大橋から本別高校までの通学路の花壇を整備しました。通学路には七〇〇株のサルビアやマリゴールドが植えられ、毎日通学する子供たちの目を楽しませています。



6/5

六月五日、病院ボランティアの皆さんや、母子寡婦会（古市百合子会長）の会員など二十人が、町国保病院前花壇の花植えを行いました。花壇には、マリゴールドやベコニアなど八種四五〇株が、待合室からいるとよく見えるよう丁寧に植えられました。



6/8

六月八日、鎌田建設工業株式会社と秋原建設工業株式会社会社（帯広市）の職員十五人が、町道共栄緑町線通りの草を刈り花で飾りました。これは、地域美化活動の一環として毎年行われており、これからの観光シーズンに向けて、道路沿いには約一〇〇〇株の花が植えられ、大変きれいになりました。





入場行進

5/30 勇足小学校・ 中学校合同運動会



会場みんなが参加



幼児も負けてません



力と技



記録更新目指して



現在同点



親子二人三脚



綱を握る手に力が入ります



小・中合同の選手宣誓



ラストを飾る
スウェーデンリレー



本別駒踊りを披露



決まりました

6/6 仙美里小学校・ 中学校合同運動会

6/6 本別中央小学校



たくさん
入ったかな？



力のこもった応援合戦



呼吸を合わせて



1年生も頑張りました

地域あげての運動会、体育祭が五月三十日と六月六日に町内小中学校で開催されました。本番に向けて練習を重ねてきた子供たちは、軽快な音楽が流れる中、学年の枠を越え、運動会スローガンの下に各種目に真剣に取り組みました。各学校のグラウンドには、応援に訪れた家族や子供たち、先生の声援が響きわたり、地域の一大イベントを盛り上げました。地域の人が参加する種目も用意されるなど、それぞれの学校で趣向を凝らした内容に、グラウンドに集まった全ての人々が楽しい一日を過ごしました。

天候に恵まれた今年の運動会。そんな晴れ渡る空の下、グラウンドには子供たちの元気いっぱいの笑顔がありました。

地域の一大イベント運動会



本中名物「棒倒し」



ゴールへ向かって一直線

5/30 本別中学校



気持ちをバトンに込めて

「桜ともみじの山づくり事業」 「町有林造林事業」

ニトリ北海道応援基金の助成を受けた、「桜ともみじの山づくり事業」と「町有林造林事業」が4月から6月にかけて実施されました。

「桜ともみじの山づくり事業」は、今年から5年計画で新生地区の町有地2.91haに、町民植樹祭を行いながら桜ともみじを植栽します。今年は0.58haにエゾヤマザクラ150本、ヤマモミジ85本を植栽。美しい景観や緑豊かな自然を広げ、多くの人に親しまれる山づくりを目指しています。



昨年カラマツの苗5,600本を植えた「町有林造林事業」では、山崩れ等の山地災害防止などの森林が持つ機能の維持、持続的な木材生産の増進などを目的に、今年も新生地区と上本別地区の町有地7.64haに、カラマツの苗9,620本、スーパーF1の苗4,000本を植栽しました。

植栽された今後成長期を迎える若い森林は、二酸化炭素を吸収・蓄積する量が多く、地球温暖化防止の期待もできます。

ほんべつ元気学宿（実行委員会主催＝山下健司実行委員長）が中央公民館を主会場に、6月13日から18日までの5泊6日で開催されました。

この学宿は、町内の小学4年生から6年生の子供たちが対象で、共同生活をしながら通学する事業。参加した20人は期間中、北海道教育大学釧路校の学生7人や地域のボランティアなどの協力を得ながら、普段は親などがしてくれる食事作りや洗濯などの身の回りのことを自らこなしただけでなく、お風呂は、ご家庭のお風呂をお借りする「もらい湯」を体験し、地域との交流も深めました。



毎年好評の「流しそうめん」

6日間の共同生活を終えた子供たちは、充実した表情をしていました。

がっ しゅく
元気学宿

「北と南の民謡ドリームコンサート」



北海道江差追分

KAZUMI

&

沖縄民謡

古謝美佐子



夢のコラボレーション

本別町芸術文化事業振興会（棚原秀樹会長）によるKAZUMI & 古謝美佐子「北と南の民謡ドリームコンサート」が6月20日、中央公民館で開催されました。

大きな拍手で迎えられ登場した、30年間北海道江差追分を歌い続けるKAZUMIさんは、ギターバージョンで「北海たらつり」など8曲を熱唱。

続いて、沖縄民謡の重鎮古謝美佐子さんがキーボードの伴奏で、自身の初孫ができたときに作った子守唄「童神」などアンコールを含め全7曲をしつとりと歌い上げました。

最後には、江差追分「ソーランBeat」に本別高校生有志7人のヨサコイソーラン踊りも加わり、KAZUMI & 古謝美佐子の北と南の夢のコラボレーションが実現。会場を訪れた約300人の観客は、2人の迫力ある歌声に酔い酔っていました。



HELLO 教育委員会



教育委員会は、教育委員5人による合議制の執行機関で、うち1人は、教育行政の専門職である教育長です。教育委員の活動は、毎月の定例会および必要に応じて随時教育委員会議を開催し、本町の教育行政推進上の課題などを協議し、進むべき方向を決定しています。昨年度は18回の会議で、43件の議案を審議しました。

また、学校行事や、社会教育事業など、多くの事業に出席し、幼児から高齢者まで、学校教育・社会教育・文化・スポーツ活動などを通して、教育全般にわたり町民ニーズの把握と各種施策の点検・検討も行っています。

ほんべつ学びの日宣言「四つの風」

教育委員会では、平成19年9月に「ほんべつ学びの日」を宣言し、家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもと一緒に、日々学ぶことを「四つの風」にたとえた取り組みを推進しています。

ひかり かせ 光風

子供が元気で光り輝ける
地域の大人が子どもをはぐくむ風



あいさつ運動

将来の本町を担う子供たちが、たくましく、健やかに育つために、地域全体で子どもをはぐくむ取り組みとして、9月をあいさつ運動月間に位置付け「おはよう」の声掛けをしています。

いのり かせ 祈風

郷土や家族を愛し、
平和や命を大切にす風



わがまちの七月十五日展

悲惨な本別空襲を語り継ぎ、平和を祈り命の大切さを伝えます。今年度は「沖縄戦とひめゆり学徒隊」の記録を展示します。

みのり かせ 実風

健康な身体や
食べ物の実りに感謝する風



勇足大運動会

仙美里地区ですでに実施されている、保育所から中学校まで合同の地域に根ざした大運動会が、今年度から勇足地区でも開催されました。教育委員も駆け付けて子供たちの頑張りに拍手と声援を送りました。

ゆめ かせ 夢風

だれもが夢を持てる風



国際交流研修事業

5月に姉妹都市オーストラリア・ミッチェルの訪問団が来町。前回のミッチェル訪問時にお世話になった本別高校生も参加し、約3年ぶりの再会を喜び合いました。10月にはミッチェルへ本別町の中高校生を派遣します。

中間報告

計画策定のキーワードは

「人材育成」「産業・雇用」
「安心・安全・健康」

新しい本別町のまちづくりの姿(イメージ)



ほんべつ力の創造 生涯学習社会の構築
人材育成
協働による地域づくりの推進 意識改革(職員・町民)
(まなびの重要性)

人材育成(まなびの重要性)は木の「根」

町民一人ひとりの学びを生かしたマンパワーを「ほんべつ力」と位置づけ、「ひとづくり」「人材の育成」を木の「根」と例えました。

- 町民一人ひとりの力を引き出す(ほんべつ力の創造)
- 協働による地域づくりの推進
- 意識改革の推進(職員・町民)
- 生涯学習社会の構築

地域に誇りと愛着を持ち、地域で活躍できる人材が育っていくためには、地域で学び、地域で育ち、地域全体で学び合うことが極めて重要となります。

町民一人ひとりが「輝くまち」「必要とされるまち」を実現するために、地域全体で考え、学び、行動することが重要です。

町民と行政がお互いに協力し合い、町民参加による対話のまちづくりを推進します。

総合計画についての問い合わせ

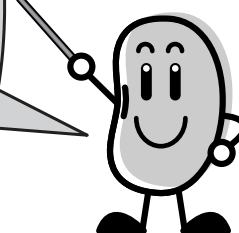
企画振興課 企画・生涯学習担当 ☎22-8121

平成二十一年五月の第五次総合計画策定の諮問から一年が経過し、本別町総合計画策定審議会(今野公司会長)では、これまでの協議してきた内容を中間報告としてまとめました。

シリーズ 第六次本別町総合計画

Part14

「幹」「枝」は、次号で
お知らせいたします





いざという時の救命救急を学びました 5/25

家族教育支援事業「なかよし」が5月25日、子育て支援センターで開催されました。「わが子の命を救え！」と題し本別消防署職員が講師となり、乳幼児や幼児の人形を使って人口呼吸の方法や、AED（自動体外式除細動器）の使い方、誤飲やのどを詰まらせた時の対処方法を説明。参加した16人は、講師の話に耳を傾けながら、真剣に救命救急方法について学びました。6月9日には賀陽歯科医院の賀陽真哉院長による「大切な歯の話」も行われ、12人が参加しました。



銀河サロン花見交流会 5/27

銀河サロン（三井誠子委員長）による花見交流会が5月27日、義経の里ビーフハウスで開催されました。花見交流会は、花見・食事をしながら参加者同士の親睦を深めるために、毎年5月に開催されています。約60人の参加者は、あいにくの天気ではありましたが、ビーフハウスで雨を気にせず食事や宝探しゲーム、カラオケで交流を図りました。銀河サロンでは、子供から高齢者・障がい者など、幅広い人が集まり、毎月健康ダンス・カラオケ・集いを行っています。



交通事故に遭わない起こさないために 5/26

本別町交通安全母の会（田西喜代会長：15人）主催による「高齢者の交通安全勉強会」が5月26日、町内市街地区の高齢者と老人クラブ会員を対象に道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。本別警察署の伊藤幸治地域・交通課長が「高齢者の事故防止」と題して、高齢者の事故発生状況や正しい道路の横断方法、自転車の正しい乗り方などについて講話したほか、町交通安全指導員会の泉野健会長による交通安全クイズ大会も行われ、参加した約80人は交通安全に対する意識を高めました。



来年度の教科書は？ 6/2~19

町内小・中学校の児童生徒が来年度使用する教科書の見本が6月2日から6月19日、歴史民俗資料館に展示されました。会場には、小・中学校の教科ごとに403冊が展示され、来場者は教科書を手に取り真剣なまなざしで見っていました。



まちがきれいになりました 6/5・12

6月5日に勇足元町子ども会（篠原聖法会長）の会員19人が、勇足元町地区町道沿いのごみ拾いと勇足地区公民館の窓ふきを、6月12日には株式会社野田組（野田仁社長）と株式会社山中（畝地昭夫社長）の職員の皆さん約50人が、役場や道の駅周辺などの清掃作業を、町内と上浦幌郵便局職員（代表：佐々木健樹本別郵便局長）の皆さん13人が、役場前憩いの広場の草刈りや木の剪定のボランティアに汗を流しました。



惜しみない拍手 6/12

第27回吹奏楽合同演奏会（町文化協会、中央公民館主催）が6月12日、中央公民館で開催されました。演奏会には、本別ジュニアアンサンブル、本別中学校吹奏楽部、本別高等学校吹奏楽部、本別ブラスアンサンブルの4団体が出演し、日ごろの練習の成果を披露。最後には、4団体84人による「となりのトトロ」などアンコールを含め4曲の合同演奏も行われ、会場を訪れた家族や友人など約300人から惜しみない拍手が送られました。



プロの技術を体感 6/13

町体育協会創立50周年記念事業「北海道日本ハムファイターズフィールドクラブ野球教室」（町体育協会主催）が6月13日、弥生球場で開催されました。同球団少年野球指導者の白井康勝さん、牧谷宇佐美さんが、本別、勇足、仙美里、陸別の野球少年団と本別・勇足、陸別中学校野球部の92人に、走・攻・守の基本技術を見本を見せながら丁寧に指導。子供たちは、プロの技術の高さを体感しながら真剣な表情で取り組んでいました。



小学唱歌に酔いしれて 6/8

6月8日、日本国際童謡館特別会員の岩城由榮さんが、以前本町でのエッセー教室でお世話になった恩返として、自身が執筆した作品をもとに「日本の心 日本の歌 小学唱歌 三つの物語」と題した講演を町図書館で開催しました。岩城さんは、「唱歌は、戦後悲しみに包まれた人々を励まし続け、心を大きく癒したもの。芸術性も高く、立派な日本の財産。これからも歌い続けられることを願います」と話し、会場に訪れた35人全員で、「おぼろ月夜」を合唱し、唱歌の素晴らしさを味わいました。



みんなの健康

311

ピロリ菌ってなあに？

正式にはヘリコバクターピロリといえます。ピロリ菌は胃の粘膜に生息している細菌です。胃には強い酸があるため、昔から細菌は少ないと考えられていました。

一九八三年にオーストラリアの医師がピロリ菌を見つけて、その後いろいろな事がわかってきました。しかしまだわからない事も沢山あり、完全には把握できていません。

口を通っての感染が大部分だろうと考えられていますが、はつきりとはわかっていません。また、衛生環境が悪いと感染を起すしやすと考えられています。

薬を服用することにより、ピロリ菌を退治する治療を除菌療法といえます。正しく薬を服用すれば、約80%の確率で除菌は成功します。しかし、薬が使えない人、副作用が出る人などもあり、検査、治療法などは消化器担当の医師に相談してください。

境が悪いと感染を起すしやすと考えられています。しかし、上下水道が十分完備され、衛生環境が整った現代では、あまり神経質になる必要はないでしょう。さて、ピロリ菌がいるとどんな病気を起すのでしょうか。胃に菌がただいてもほとんどの人は症状を自覚しません。胃・十二指腸潰瘍の患者さんには、ピロリ菌に感染している事が多くあります。

さらに、再発、治りにくさに関係しているといわれています。

本別町国民健康保険病院
内科医長 磯村泰之

未来に輝く子どもたち



南1丁目
遠藤 琉威くん
(宏美ママ)

本別町の未来を担うかわいいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんのお愛に包まれてすくすく元気に育つてね！



清流町
村山 礼奈ちゃん
(加奈子ママ)



勇足西一
井上 湊太くん
(真理子ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

交通事故死ゼロ新記録達成!



6月24日午前零時に、交通事故死ゼロ新記録となる1048日を達成しました。この記録がいつまでも続くよう、今後も交通安全を心掛けましょう。

日ごろの悩みを解消 6/17

在宅介護者を支える会（鈴木信治代表）による、第1回ひばりの会が6月17日本別生活館で開催されました。これは、介護を受ける人と介護する人が一同に集まり、日ごろの悩みを互いに話し合いながら交流し、リフレッシュするために行われているもので、集まった35人は、談話や簡単なゲームなどをしながら楽しいひとときを過ごしました。



ご寄付ありがとうございます 平成22年5月13日から6月16日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町老人ホーム指定

- トイレットペーパー84ロール・ボックスティッシュ40箱・洗剤20本 清流町 金石雅子
- ぞうきん 55枚 上押帯 榊田夏子
- タオル100本 本別市街地婦人会 会長 田原美枝
- 洗濯粉せっけん 8kg 本別民謡好友会 代表 島崎雪枝
- タオル 20本 神奈川県 小林千亜紀
- 紙おむつ 1,433枚・その他介護用品 19点 南1丁目 富士ホームセンター

- タオル 52本 柏木町 三川清子
- ★本別町国民健康保険病院指定
- タオル 110本 大阪府 山口晃 永
- タオル 50本 本別市街地婦人会 会長 田原美枝
- タオル 30本 美蘭別 船山 悟
- タオル 107本 匿名 名

★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定

金100,000円 柳町 東 さか江

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

- ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業
- 金 200,000円 チェトイ1 青木泰孝
- ★本のまち・夢プラン事業
- 金 200,000円 チェトイ1 青木泰孝

銀河ホップ・ステップ・ジャンプ

— 足寄町・陸別町から —

足寄町

全国一斉国立公園清掃デー クリーン阿寒・ オンネット―地区清掃活動

自然観察や森林浴をしながらオンネット―清掃活動に参加してみませんか。

□日 時 8月1日(日)

□内容

午前8時

足寄町民センター前出発

午前9時30分―11時30分

清掃活動実施



- ・ Aコース アカエマツ純林探勝路コース
- ・ Bコース 湯の滝遊歩道コース
- ・ Cコース オンネット―車道付帯コース
- ※各コースとも自然観察・森林浴を兼ねた清掃とします
- 正午―午後1時30分
- 雌阿寒温泉で昼食(主催者側で用意)
- 休憩・入浴
- 午後2時30分
- 足寄町民センター前到着・解散

□申込期限 7月26日(月)

※希望するコースを選び、電話またはFAXで申し込みください

□申込先・詳細 あしよる観光協会

☎ 2516131

FAX 2516132

□とき 8月8日(日)

9時スタート

□ところ 宇遠別 陸別サーキット

□料金 一般 1200円

高校生以下 無料

※割引券は、本別町、足寄町のいくつかの店舗に置いてあります。詳しくはお問い合わせください

□問い合わせ 陸別町役場産業振興課

☎ 2712141

道新オフロードレースin
陸別全日本選手権大会

第29回オフロードレースが開催されます。
コースの一部は、ラリー北海道で使うコースの一部を使って行われます。迫力のある走りをお楽しみください。



昭和の名人が やってくる!

お誕生

5月後半から
6月前半の
届出分

- 井上 湊 太^くん 晃通^{きん} 5/11 勇足西1
- 村山 礼 奈^なちゃん 友彦^{ともひこ} 5/25 清流町
- 久江 ともか^かちゃん 達也^{たつや} 5/29 北3丁目
- 菊池 薫^{かおる} 勝之^{かつの} 6/5 中央小学校

ご結婚

- (渡 辺 隆 一^{しん} 北3丁目
- 青 山 まどか^かさん 北3丁目

おくやみ

- 小池マスエ^えさん 95歳 5/16 北6丁目
- 岩本 健 一^{けん}さん 80歳 5/18 錦 町
- 橋本キヨノ^のさん 86歳 5/18 清流町
- 青木 ハ ナ^なさん 97歳 5/20 チェト1
- 久保利 吉^{きち}さん 91歳 5/24 仙美里元町
- 川田 正 男^{おとこ}さん 73歳 5/26 柏木町
- 方川 新 一^{しん}さん 91歳 6/1 負籠 2
- 東 恒 雄^{とこ}さん 83歳 6/2 柳 町
- 夏川 當^{あきら}さん 90歳 6/5 北4丁目

わたしたちのまち

前月比

- 人 口 **8,488人(-10)**
- 男 **4,191人(-1)**
- 女 **4,297人(-9)**
- 世帯数 **3,938戸(±0)**

〔5月末日住民基本台帳〕

六代目三遊亭圓窓師匠の話す・
聞く・思い描く力を育む落語の授業

小学生の教科書に、落語が載っていることをご存じですか？

落語を通して日本の歴史や伝統文化を知り、昔からの人々の知恵やユーモア、生きる力を学ぶ教材として取り上げられているのです。

現在、小学4年生の国語の教科書に創作落語「ぞろぞろ」が掲載されていますが、この落語の作者、六代目三遊亭圓窓師匠は「子どもたちに、話す・聞く・思い描くことの大切さを伝えたい」と、全国各地の学校へ出向き、落語の授業をしています。

本物の落語家、それも昭和の名人と名高い三遊亭圓窓師匠の楽しくステキな授業が、なんと！本別町でも実現することになりました。

9月27日、本別中央小学校を会場に、圓窓師匠が町内小学校の児童の前で「落語授業」をしてくれるのです。

圓窓師匠からどんなお話が聞けるのでしょうか。聞いた子どもたちの目の輝きが、今から見えるようです。



圓窓師匠のこぼ

「落語はおもに、聞いて笑って、楽しむ話芸ですが、教育的要素もたくさん含んでいます。話す・聞くがなぜ重要かというと、それは必然的に思い描く作業が必要になってくるからです。これが今の日本人に欠けている問題なのです」

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称：ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112